

研究の名称

- ・香川県で分離された腸管出血性大腸菌の分子疫学解析

研究の概要

- ・県内の腸管出血性大腸菌感染症発生事例において分子疫学解析を行い、各県と情報を共有し、広域事例が発生した場合における事例間の関連性を明らかにする。
- ・分子疫学解析の結果を比較・解析し、感染源の究明や感染拡大防止、予防対策などに役立てる。

研究の期間

- ・令和元年度から令和3年度まで

使用する試料

- ・腸管出血性大腸菌の届出があった際に、医療機関及び保健所から得られた菌株

使用する情報

- ・法令等に基づき実施した遺伝子検査結果、発生年月、発症の有無、事例情報（一般世帯・施設等世帯・散発の別）

試料・情報の管理責任者

- ・香川県環境保健研究センター 微生物担当 岩下 陽子